

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 令和 2 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名： 咀嚼能力の維持・向上を期待した簡易的なトレーニング（ガム噛みトレーニング）普及事業</p>
<p>2. 申請者名： 一般社団法人 八千代市歯科医師会 会長 平出 功</p>
<p>3. 実施組織： 一般社団法人八千代市歯科医師会、東京医科歯科大学高齢者歯科学分野、八千代市（後援）、NPO 法人やちケア</p>
<p>4. 事業の概要： 十分な咀嚼能力の維持，回復が健康寿命の延伸に有効である。 八千代市在住高齢者に対して、</p> <ol style="list-style-type: none">1. 咀嚼評価ガムの配布と個人での咀嚼能力評価2. 個人での咀嚼機能低下の認識と歯科医院での適切な補綴処置3. 適切な補綴処置後のガム噛みトレーニングの普及によって咀嚼能力の維持・向上を期待する。
<p>5. 事業の内容： 平成 29 年度八千代市歯科医師会では後期高齢者以降の対象者 30 名に対して「咀嚼能力の維持・向上を期待した簡易的なトレーニング(ガム噛みトレーニング)」と題した臨床研究を実施して，ガム噛みトレーニングが咀嚼能力を向上させることを老年歯科医学会に論文を投稿した（p63-69_老年歯科医学第 33 巻 2 号_2）別刷り参照。 本事業の目的は，八千代市在住高齢者に対して、</p> <ol style="list-style-type: none">1. 咀嚼評価ガムの配布と個人での咀嚼能力評価2. 個人での咀嚼機能低下の認識と歯科医院での適切な補綴処置3. 適切な補綴処置後のガム噛みトレーニングの普及により健康寿命の延伸を期待する。 <p>年度計画</p> <p>初年度 2018 年：八千代市民と八千代市歯科医師会員への啓発活動</p> <p>2 年目 2019 年：咀嚼評価ガムの配布とガム噛みトレーニングの普及</p> <p>3 年目 2020 年：ガム噛みトレーニング効果の評価</p>

6. 実施後の評価(今後の課題) :

3年目 2020年は、新年早々からの新型コロナ感染の流行と4月、5月に及ぶ緊急事態宣言などにより社会生活がストップし、「咀嚼能力の維持・向上を期待した簡易的なトレーニング(ガム噛みトレーニング)」の普及および高齢者市民への追加研究もままならない状況となった。それに伴い、8月に予定していた追加研究データの回収を12月末まで延期した。10月頃より八千代市行政や関連職種協力の元、高齢者を含む八千代市民を対象とした講習会やセミナーなどがようやく再開したが、令和3年1月から3月に及ぶ緊急事態宣言やその後のコロナ禍においてデータ分析にまでは及ばないのが現状である。しかし、粛々とデータ収集は進みつつあり、研究資料やチラシも追加注文した。

今後(4年目)は、地域包括ケアに則り、居宅介護、介護施設に関わらず、「口腔ケア」としての、口腔清掃、歯ブラシの保管、義歯の清掃・着脱や保管、歯磨き、嚥下体操指導、唾液腺マッサージ、食事介助等にプラスして摂食・咀嚼トレーニングとして「ガム噛みトレーニング」を啓発・普及させるべくNPO法人やちケアや関連職種と協力し、介護予防サービスの一環として貢献していく所存である。